



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

姿勢の基本

住職 平田真純

天台宗では、法要時における共通の基本的な作法が定められています。その中に姿勢の整え方についても説かれています。

法要時の作法ではありませんが、皆様の参拝の参考になればと説明を試みてみます。参拝時の気構え、また行事や諸会の法要参加時の作法に役立ててください。

まず、背骨・腰を曲げずに、身体を中心をまっすぐにつらぬくような姿勢を基本とします。そしてさらに注意すべき九つの要点があります。(以下が信徒の皆様への一言です)

一、足は運ぶに重々しく、しっかり五体をささえる
想いをする。

―信徒の皆様が堂内や境内を移動するときも軽々しい動作を避けます―

一、手は恭ましく左右相対し揃える。

―指先まで神経をいきわたらせます―

一、目は端正にして不動であること。

―きよろきよると落ち着きなく周りを見ないよう

にします―

一、口は確かと閉じて猥りに動かさない。

―参拝中でも、法要待機中でも、しっかりと精神を集中させるようにします―

一、声は静寂にして咳などしない。

―できる限り、周りの方の集中の妨げにならないようにします―

一、頭は直にして傾顧ないこと。

―顎が上がっていたり、うなだれていたたり、左右に傾いていないよう心がけます―

一、気は肅として息は極めてしずか。

―おごそかな気分をもって、心を落ち着けます―
一、立ちては悠々として中立であること。

―肩の力を抜き、まっすぐな姿勢を保ちます―

一、顔色自若として厳かにして犯されない。
―どんな状況であっても、落ち着きを失わないようにします―

各人の体調等による事情はあると思いますが、なるべく姿勢にも留意してください。要は、本尊様に失礼のないように、周りの迷惑にならないようにということが基本です。

待乳山だより

成田山・鹿島神宮参拝

信徒旅行のご案内

十月二十九日(土)、信徒旅行を行います。今年には茨城県鹿嶋市にある鹿島神宮と、千葉県成田市にある成田山新勝寺にお参りいたします。



鹿島神宮は常陸国(茨城県)の一宮(旧国地域で最も格式の高い神社)。神武天皇元年(紀元前六百六十年)に創建されたと言われる関東最古の神社です。本殿・石の間・幣殿・拝殿は国の重要文化財に指定されており、全国約六百社ある鹿島神

社の総本社でもありません。境内の独特の雰囲気、空気感をお楽しみください。

成田山新勝寺は、真言宗智山派の大本山のひとつ。不動明王信仰の中心地でもあり、成田不動とも呼ばれます。こちら



では新勝寺内にある聖天様がお祀りされているお堂への参拝や、ご本尊不動明王の護摩祈禱がございませう。

この機会にぜひご参加ください。

日時 十月二十九日(土)

午前八時 出発 午後五時半 解散予定

応募締め切り 十月十六日(日)

参加費 八千五百円(交通代食事代含む)

定員 八十名

震災供養碑の慰霊法要

九月一日、震災供養碑の慰霊法要が行われました。

今を遡ることおよそ九十

三年前の大正十二年、関東

大震災と呼ばれるマグニチ

ュード七・九の大地震が起

き、関東一円に大きな被害

をもたらしました。この地

震で亡くなった方を弔うた

め、当山では毎年九月一日

の防災の日に法楽を行っております。今年も

住職以下僧侶二名の出仕によって慰霊法楽を

行いました。

七五三参りのご案内

当山では十月後半から十一月を中心、七五三参りを予約にて受け賜っております。

そもそも七五三とは、縁起が良いとされる

奇数である三歳、五歳、七歳の年に神仏にお



参りして、お子様の無病息災を祈願し速やかな成長を願うもので、一般に女の子が三歳と七歳、男の子は五歳(地域によっては男女ともに区別なく三・五・七歳のいずれにも祝うこともあるそうです)にお参りいたします。



お参りは一 가족ごとに本堂内陣で行者様から直々にお加持を授けられます。またお子様のお名前とお年が入りましたお守りと御供物をお授けいたします。

特に土日の法要はご希望の方が多い場合がございますので、お早めに寺務所にてご予約ください。

ご志納金 五、〇〇〇円

訃報 元世話人の小林美枝子様が、享年八十六歳にて永眠されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

行事報告

八月二十日(土)、灯明の功德を称え、ご供養する灯明講を行いました。

朝まいり会 九月度表彰者(敬称略)

半年 小松みちる 二年 川嶋知恵子

二年 小泉志帆 山田裕一

待乳山本龍院 十月の行事

歡喜講祈禱会

十月十六日（日）午前十一時

講金 三、〇〇〇円

十月十六日、歡喜講祈禱会を執行いたします。

歡喜とは一般的にはとても喜ぶことを指す言葉ですが、仏教においては仏法を聞き、仏の功德を感じ、信心を得て喜ぶことを指します。また菩薩が悟りを得るまでに十地と呼ばれる菩薩行の実践があります。その中で仏の智慧を学び、衆生を助けるために仏となろうと誓いを立てる、最初の段階を歡喜地と呼びます。

歡喜とはただ単に自分だけがうれしい、楽しいと幸福を感じるだけではありません。仏様の智慧が慈悲となって多くの衆生を救うことへの喜びなのです。私たちの身近な例を挙げるならば、自分の喜びを他者と分かち合う。自他ともに喜びと幸せを感じることで、真の歡喜であると言えるでしょう。

当山の歡喜講は、そもそも昭和二十八年、戦災で焼失した本堂再建の寄進を多くの方々にお願います。そのため結成された講です。ぜひ先達の信仰を受け継いだ歡喜を感じていただければと思います。

当日は、諸魔を払い幸福を授けるといわれる大般若經の威力をもって皆様の開運招福を祈願する大般若転読祈禱法要を厳修して、お申し込みの方にお名前入りのお札を授与いたします。皆様お誘いあわせのうえ、お申し込みください。



特別公演「待乳山笑点」

出演者

柳家千寿（落語家）
 純彦（ギター）
 真和賢（ギター）
 田村本有（ドラム）
 平内山深



歡喜講祈禱会終了後、大広間にて特別公演を開催いたします。

今回は去年の安全講の際、ご好評いただいた「待乳山笑点」が帰ってきます。落語家の柳家千寿さんの落語、住職が参加するバンドとのコラボレーションをお楽しみください。

入場は無料ですので、お気軽にご参加ください。

法要案内

お問い合わせください。

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にて、

百味供養

沢山のお供物をお供えして尊天さまに御札の供養をいたします。

法要料 八万円

大般若法要

所願成就御札の法要として、大般若經六百巻を転読いたします。

法要料 五万円

自動車加持

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

法要料 壱万円

安産祈願

母子とも無事な出産を祈願いたします。

法要料 壱万円

十月行事予定

御縁日大法要

歡喜講祈禱会

十月十六日(日) 午前十一時

講金

三、〇〇〇円也

ご参拝の皆様の開運招福を祈念し、各自のお名前入りのお札を授与いたします。

特別公演 待乳山笑点

十月十六日(日) 正午 観覧

無料

法要終了後、大広間にて落語とバンドのライブを行います。ぜひご観覧下さい。

朝まいり会

十月一日〜七日 午前八時から八時半 会費

月 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法を行います。

日曜勤行

十月九日(日) 午前九時

参加費

無料

初心の方も気軽に参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

十月九日(日) 午前十時/午後一時 会費

五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

坐禅の会

十月二十二日(土) 午後六時〜八時 定員三十名 参加費 五〇〇円也

本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要

十月二十五日(火) 午前十一時

法要料

五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御札の法要です。

十一月の行事

御縁日大法要 写経供養会

十一月十三日(日) 午前十一時三〇分

講金

一、五〇〇円也

豊講 十一月二十日(木) 午前十一時

講金

一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壹万円以上(一週間)

浴油祈禱 三千五百円以上(一週間)

華水供 五百円/一日